

# 横浜

# 5 Round System

## 1年に教科書を5回くり返す中学校 英語 授業

監修: 金谷 憲 東京学芸大学名誉教授  
 授業・解説: 西村 秀之 横浜市立南高等学校/附属中学校  
 協力: 梶ヶ谷 朋恵・阿部 卓・山本 丁友 横浜市立南高等学校/附属中学校

DVD VIDEO DOWNLOAD 対応商品 商品番号 E108-S  
 全2巻(分売不可) 14,000円+税(送料別)

使用教材: COLUMBUS21 ENGLISH COURSE1 (光村図書出版株式会社)

### E108-1 [72min]

### Part 1

#### 5 Round Systemの実践内容

##### 横浜5 Round System概要

- ・システムの目的と授業イメージ
- ・1年生 5ラウンドの授業展開 / 2・3年生 4ラウンドの授業展開
- ・ラウンド展開のポイント

##### Round 1 音声による内容理解

教材: COLUMBUS21 BOOK1 Unit 6 Breakfast time

- ◇Round 1の概要
- ◎Introduction ~扉を使って~
- ・ピクチャーカードを使ってトピックについて導入する
- ・ストーリーを全て聞き、教科書の設問に答える
- ◎Picture ordering
- ・ピクチャーカードを黒板にランダムに提示し、ストーリーの流れに沿って並べ替えを行う
- ◎“なりきりリスニング” ◎“なりきりスピーキング”
- ◇実際の授業例(2パターン)

##### Round 2 音と文字の一致

- ◇Round 2の概要 ◎Review
- ◎Guess the sounds
- ・ハンドアウトの文を自分で音声化してみる
- ◎音・文字の一致
- ・教科書のストーリーを聞き、順番に番号をつける
- ・順番を確認する 教科書を見ながら音声を聞く
- ◇実際の授業例

##### Round 3 音読

- ◇Round 3の概要 ◎Review
- ◎New words
- ・フラッシュカードを使って ・ハンドアウト(Word List)を使って
- ◎Read aloud
- ・Choral reading ・回読Reading(四方読み) ・一斉 Reading
- ・Overlapping ・Read aloud (4人グループで)
- ◎Writing 音読後に書き写し ◇実際の授業例

### E108-2 [88min]

### Part 2

#### 5 Round Systemの実践内容

##### Round 4 プロダクションにつながる音読活動

- ◇Round 4の概要 ◎Review
- ◎穴あきリーディング(ワークシート(Side 1~4)を使って)
- ◎Writing: Side 4 を使って文を再生 ◇実際の授業例

##### Round 5 リテリング

- ◇Round 5の概要 ◎Review
- ◎リテリング
- ・オリジナルの言葉でストーリーを考える
- ・ピクチャーカードを基にストーリーを伝える(4つのステップ)
- ◎Writing: Retellingで話したことをノートに書く
- ◇実際の授業例(リテリング)

##### 発音と綴り字指導: フォニックス的な要素

- ◇発音と綴り字指導の概要
- ◎言われた単語のスペルをカードで作る
- 確認→発音、最後に言いながら書く

##### 文法指導: Be動詞のグラマーハント

- ◇文法指導の概要
- ◎Be動詞のグラマーハント グラマーハントさせることで
- ルールの確認、それぞれのフォームの確認をする

##### 定期試験のやり方

##### 横浜5 Round Systemを行ってみて: インタビュー

- ・5Roundシステムはどのような経緯で生まれたのか
- ・実際に5Roundシステムを始めてみて
- ・3年間行ってみて、その効果は
- ・5Roundシステムの有効性を感じたのはいつか
- ・2年間、5Roundシステムの授業を行ってみて
- ・この方式の授業はどのようにして覚えていくのか
- ・初任で5Round制の授業を行ってみて
- ・この方式に生徒が付いて行けないのではないか?
- ・このシステムで難しい点は?
- ・このシステムの課題について
- ・学校として運営していく上での注意点
- ・中高一貫校ではなく、普通の公立中学校でも行えるのか?
- ・高校でもこの方式を続けていくのか?
- ・音読の量が多いが、生徒に負担がかからないか
- ・生徒が自分の言葉で表現できるようになるのか

## 自分の言葉(英語)で伝えることのできる生徒を育てる!

5ラウンドシステムとは、第二言語習得理論等を参考に、多くの英語を聞かせ、何度も言語材料に触れさせること(スパイラルな学習)を重視し、教科書を1年間で4~5回繰り返して使い言語材料の定着を図ることを狙い考え出されたカリキュラムです。

横浜市立南高等学校附属中学校では「中学3年終了時に様々なトピックに対し自分の言葉(英語)で伝えられる生徒の育成」を大きな目標に掲げこの5ラウンドシステムを用い日々の授業実践を行っています。スピーチなど準備した自己表現はもとより、与えられたトピックや、チャットなどの即興性の求められる場面でも、その状況を考えて中学校レベルの表現を自由に使える英語力を生徒は身につけてきています。

今回のDVDでは、特に1年生での実践内容を取り上げました。1周目では音声のみでの内容を理解、2周目では音声を聞きながら教科書の英文を追いつき、音と文字を一致させる。3周目は、これまで耳からインプットしたことを音に出す音読です。4周目では「穴あきリーディング」に取り組み、5周目で教科書のストーリーを自分の言葉で伝える「リテリング」を行います。ここでは、それぞれのラウンドでの実践内容を、マイクロティーチングと実際の授業映像を通して詳しく紹介しています。

## 1冊の教科書を1年間で5周する新たな取り組み!

### Round 1 音声

### Round 2 音と文字を一致

### Round 3 音に出す音読

### Round 4 穴あきリーディング

### Round 5 リテリング

### Round System

この新たな取り組みは、3年間を経過し**確実な成果**を上げており、**全国の英語教育関係者から大きな注目**が集まっています。**是非、多くの先生方にご覧いただければと思います。**

